

平成 21 年 8 月 11 日
北海道開発局

「渚滑川水系河川整備計画 [国管理区間] (原案)」に寄せられたご意見について

(1) 原案の縦覧

【縦覧期間】

平成 21 年 6 月 23 日 (火) ~ 平成 21 年 7 月 27 日 (月)

【縦覧箇所】

渚滑川流域市町「紋別市」、「滝上町」の各役所・役場、
網走開発建設部 (本部、網走西部河川事業所)

【提出意見数】

意見募集期間 (平成 21 年 6 月 23 日 ~ 平成 21 年 7 月 27 日) において、郵送・FAX・
メール等による意見書提出 (記名意見) が 2 件到達。

(2) 原案に関する地域説明会

【開催概要】

- ・平成 21 年 7 月 7 日 (火)
紋別市役所 渚滑出張所 傍聴者 6 名
- ・平成 21 年 7 月 8 日 (水)
紋別市役所 上渚滑支所 傍聴者 7 名

地域説明会の開催状況



紋別市役所 渚滑出張所



紋別市役所 上渚滑支所

(3) 原案に関する公聴会

公述人希望者がいないため開催を中止。

(4) 寄せられたご意見(原文)

1) 紋別市在住

1. 意見

1. 渚滑川 記念橋下 K.P. 18.80 ~ 19.60 の掘削は
環境保全の観点から好ましくは、掘削以外、方法を
考えるべきだと思います。

2. 若水村東について新記念橋下から直立半線の外側
に新堤防を築いてほしいです。

2) 紋別市在住

渚滑川は 84km、高低差があり急流河川の暴れ川で下流に住む住民として、洪水対策に万全を尽くしてもらいたい。特にこの地域は高齢化が進み、一人暮らしの方も多く、災害時の救助体制は紋別市でもまだ完全に整っておらず、被害者が出た場合天災から人災になる。恐れがあります。昨年度より市では要救助世帯の把握を各町内会で進めています。個人情報の関係もあり、渚滑地区は進んでいないのが現状です。また下流に渚滑古川があり、民家の中を流れている為、本流増水時にはこの古川も増水する、いわゆる内水氾濫の危険度が増します。紋別市では網走開発建設部の強力でこの3年間で樋門の整備、光ファイバーによる監視体制を整備し排水ポンプ台座を作り排水ポンプ3台新設、また新たにポンプ車3台用意し古川による二次災害を回避する措置を行っています。ひとまず安心と言うところでしょう。ただ渚滑古川の抜本的対策が必要で、道との連携が必要でしょう。

つぎに河畔林の保全、河岸の多様化では、中渚滑地区のケショウやなぎが分布している為、「河道を切削する場合断面が単調にならない様にする」とあります。渚滑川は急流河川で堤防内いっぱい水が流れ大量の土砂がけ削り取られ川がかなり移動しています。中渚滑地区の川の移動は毎年頻繁に起こっています。その事を考えると果たして河川内の河畔林に生息しているケショウやなぎがそれほど重要なのか保全は可能なのか疑問が残ります。この地区に住む人々はケショウやなぎなど誰も重要視していません。自然学者の言うたわ言と感じます。生物の多様性を考えると、自然に近い状態がベストであり、護岸で固められた川容認出来ませんが、補強として必要であれば行うべきでしょう。そこに住む住民の安全、安心の方が重要ですね。その為に早期の河道切削、築堤補強、嵩上げは地域住民として強く要望します。